

## なぜ「自己の時間の昼休みでの報告」や「自宅から自ら報告」にこだわるのか？！

### 『安否確認訓練』の目的は何か？！

8月6日に、昨年11月29日に続いて2回目の「安否確認訓練」が「実施」されました。あくまでも社員に協力をお願いするという「訓練」にもかかわらず、昼休みに「報告」をしなかった社員に対し、午後から管理者が現場に出向いて作業中の社員に対して「安否確認訓練」を実施しています。

その際、管理者は「昼休みに来ないからわざわざ私たちが確認に来た」・「事業体制を確保するため」・「次回は是非昼休みに自らが報告に来て下さい」と言っています。会社が絶対に必要だとする「訓練」なら短時間で済むのだから勤務時間中にやればいいのです。それを「社員の自己の時間や自らが報告する」ということにこだわるのはなぜでしょうか。

昨年3月の震災発生時に会社は津波警報が出ている中で新幹線を走らせました。また乗務員を使い回して車掌を2名しか乗せず新幹線を走らせました。安全より営利優先の姿勢です。「災害時」や「異常時」にかこつけて会社のいいように、社員が疑問ももたず会社に従うような体制を作り上げようと考えているのではないのでしょうか。

この「訓練のシステム」は昨年8月に打ち出され「個人情報の携帯メールアドレスは教えたくない」と考えつつも多くの社員がメルアドを登録していると思います。「会社のシステムにメルアドを登録したばかりに迷惑メールが多く届き困った」という話もよく聞いています。そして会社は、昨年11月に行為そのものはよくありませんが「新幹線の運転中に携帯メールをした件」について、当該社員に対し厳しい処置をしています。携帯という便利なアイテムを一方では規制しつつ、もう一方ではお金をかけず会社の都合のいいようにうまく活用しようとするのは少しずるいとは思いませんか？！